

大会テーマ

第42回宇治市青少年健全育成推進大会

気づいてる？ あなたのまわりの あたたかさ



第3部 講演 演題 「やさしさをすれないうで」
講師 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 語り部 元旧二葉小学校教諭 (教育復興担当教員) 佐々木 勉 氏

第2部 実践活動報告
ジュニアリーダー会の報告
ジュニアリーダー 松原 大和さん
ジュニアリーダー養成(ふる里) 学習会参加児童発表
宇治市立大久保小学校5年生 高橋 穂花さん
宇治市立横島小学校 6年生 平石 結音さん
地域青少年協活動報告
南小倉校区青少年健全育成協議会 井戸本 道衛 会長

「気づいてる？ あなたのまわりのあたたかさ」をメインテーマに青少年健全育成関係者や育友会・PTA等の市民が一堂に会し、研修や交流を深め、実践的な活動をより一層推進することを目的に第42回宇治市青少年健全育成推進大会を開催しました。
当日は170名を超える参加者があり、人と人とのつながりを感じるとても温かい大会となりました。

日時 令和7年1月26日(日) 13時～
場所 宇治市生涯学習センター 第1ホール
第1部 式典・感謝状贈呈式
第2部 実践活動報告

さて令和6年度の当協議会の事業として、内容は変わりつつも、地域青少年協の事業も多くが開催されました。第42回宇治市青少年健全育成推進大会も、多くの方にご参加頂き開催出来ました。また、京都府立青少年海

浅春の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は青少年の健全育成に、多大なるご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

令和6年度後半には、インフルエンザやコロナウイルス等の感染症が猛威を振るい、子ども達には、相変わらず負担の多い生活が続いていました。健康・安全について、子ども達の為により良い環境になることを望みます。

これからの宇治市を担っていく青少年の為に私達が出来ること・やらなければならない事を考えながら、青少年が希望の持てる「明るいまちづくり」を行う為にいっそう「地域力」を強めていかなければならないと考えています。皆様におかれましては、青少年のより良い環境作りの為に今まで以上のご協力をお願い致します。



宇治市青少年健全育成協議会
会長 鵠 繁行

ごあいさつ

結びに、市民の皆様、各種団体の皆様のこれから益々のご活躍とご健康、ご多幸を願い、ごあいさつとさせていただきます。

これからの宇治市を担っていく青少年の為に私達が出来ること・やらなければならない事を考えながら、青少年が希望の持てる「明るいまちづくり」を行う為にいっそう「地域力」を強めていかなければならないと考えています。皆様におかれましては、青少年のより良い環境作りの為に今まで以上のご協力をお願い致します。

これからも当協議会は、地域青少年協の活動の充実、京都府青少年育成協会や城陽・久御山等他地域の青少年育成団体との連携、クリーン運動の実施、中学生の主張大会の実施、ジュニアリーダー養成(ふる里)学習会の実施等、各種団体との強力な連携を強め、地域の実情に即応し、地域に根ざした健全育成活動を進めたいと思います。

洋センター「マリンピア」で実施しているジュニアリーダー養成(ふる里)学習会も、異なる暑さの中ではありませんでしたが、子ども・大人も含めての熱中症対策を考えながら開催することが出来ました。ジュニアリーダーやスタッフの自覚を持った動きには関心させられました。きつと参加してくれた小学生にとつての良い見本になってくれたことでしょう。

令和6年度

宇治市青少年健全育成感謝状贈呈

ありがとうございます これからもよろしくお願いします

地域で地道に優れた活動を展開している青少年団体、グループ、青少年及び青少年指導者等を顕彰し、その活動を奨励するとともに、広く一般に周知することにより、青少年健全育成活動が一層促進される契機となることを狙いとしてこの事業を実施します。



個人

(順不同)

大開校区青少協
南小倉校区青少協
南小倉校区青少協
西小倉校区青少協
神明学区青少協
南小倉校区青少協
木幡中学校区青少協
笠取校区少年補導委員会
南小倉校区少年補導委員会
南小倉校区少年補導委員会
笠取校区少年補導委員会
宇治校区少年補導委員会

上田 隆 様
大塚 清美 様
大西 進 様
奥田 勉 様
川崎加代子 様
田中 仁志 様
西山 ルミ 様
多田富起男 様
中川江三子 様
松本 昌恵 様
村上 育夫 様
村田 卓正 様

団体

パナソニックインダストリー労働組合宇治支部 様

第2部 実践活動報告

ジュニアリーダー会からの報告

リーダーとして学んだこと

松原 大和



僕は昨年ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会に小学校6年生で参加しました。そして今年は中学生リーダーとして参加しました。

リーダーとしての最初の仕事は班付きで、3班担当でした。今年参加したリーダーの中で、中高生はほとんど緊張しました。始めに班会議がありました。班会議では、年上のリーダーの人に手伝ってもらって、キャンプファイヤーでの出し物を決めることができました。この班会議では小学生同士がしっかりと話し合えて、また、班の小学生と班付きリーダーである僕も話し合うことができて少しホッとした。

その次に、レクリエーションを行いました。レクリエーションでは、「宇治市の問題」について話し合いました。僕の班では、宇治市には信号が少ないことについて考えました。僕は自分が住んでいる地域以外にも色々困っている場所があると知りました。僕は宇治市民の一人として、様々な問題について考えてみようと思いました。

僕がこの学習会で一番思い出に残ったのは、2日目に行ったカッター訓練です。一緒にカッターに乗ったメンバーはそれまでの班ではなく、班をバラバラにしたメンバーで乗りました。息が合うかどうか心配でしたが、初めはなかなか合わなかった権の動きが、途中から合ってきて、最後にはバッチリ息が合いました。この時に、出合って間もないメンバーでも、力を合わせて大きなものを動かすことができるということを知りました。

今年の中学生リーダーは僕だけだったので、今回来てくれた人たちが来年、再来年にジュニアリーダーになって、このような経験を一緒に積める仲間が増えて欲しいです。



ジュニアリーダー養成（ふる里）学習参加児童発表

最高！リーダー養成学習会に参加して

宇治市立大久保小学校 5年

高橋 穂花



自分は、少し人見知りでもみんな仲良くなれるか、最初は、とてもきんちようしてました。しかし、みんなが積極的にしゃべりかけてくれ、きんちようをほぐしてくれて、すぐ仲良くなれました。

私は、キャンプファイヤーがとても楽しかったです。ひとはんずつ出し物をし、自分のはんはクイズをしました。他のはんは、どんな出し物をするか、出し物が終わっていきたくびにわくわくしました。他のはんがしていたげきやじゃんけん列車など、どれも夜のキャンプファイヤーにピッタリで盛り上がりました。

1日目の夜、宿泊部屋でみんなと鬼ごっこをしました。いろいろなルールをつくって遊んでいたとしてもあせを覚えてしまいましたが、おもしろかったです。ルールの中には、鬼はたみみの縁だけしか歩けないルールや鬼に1回だけ2秒止まってもらえるルールなど、いろいろなルールがありました。ルールがありすぎて、少しそがしくて楽しい鬼ごっこになったので、また、同じメンバーとやりたいと思いました。

自分は、リーダー養成学習会に参加してどんな人にも積極的に話すことの大切さを知りました。これからは、心の中で「今日も自分から明るく話しかけて仲良くなるぞ」と思い、話しかけても友達になれなかったら、その人の好きなことを見つけて、仲良くなろうと思います。

自分はおこがれているリーダーみたいになりたいです。そのため、6年生になってもリーダー養成学習会に参加し、成長した今の自分よりももっと成長して積極的に話せる人になりたいです。宿泊部屋にいた間、同じ学校の友達としゃべらなくても気がついたら笑顔になっていました。新しい友達ができ一生わすれられない、とても楽しい2日間になりました。



ジュニアリーダー養成（ふる里）学習参加児童発表

中学生になっても行きたいリーダー研修

宇治市立横島小学校 6年

平石 結音



私は、5年生の時に初めてリーダー研修に行き、他校の友達と交流が楽しかったので、今年もぜひ参加したいと思っています。

リーダー研修の活動をする中で去年と大きく変わったのは、私達が楽しめるようにリーダー達が、考えたり、動いたりしてくれているのが伝わった事です。例えば、食事の時に次の行動や片づけ方などを私達が困らないように分かりやすく教えてくれました。

また、カッター訓練では、カンをたてる時、「協力して」やしんどそうなお時、「がんばれ」と声かけをたくさんしてくれて、がんばる事ができました。去年私達が楽しく活動できたのは、リーダーのやさしさや努力があったからだと思いました。

今回のリーダー研修会で学んだ上級生としての気づきや周りへのやさしさは、学校生活や友達と遊ぶ時にも大切なことばかりでした。そんなつかいリーダーの姿を見て、あこがれるのと同時に自分もそんなリーダーになりたいと思いました。

来年は、今回のリーダー研修で学んだ事を生かして、私もリーダーとして参加し、下の学年の子達が楽しめるようにサポートしたいです。そして、あこがれるリーダーになりたいです。



PRECIOUS MEMORIES

マリンピアに行ってきました！

令和6年7月27日(土)～28日(日)に京都府立青少年海洋センター(マリンピア)においてジュニアリーダー養成(ふる里)学習会を実施しました。当日は、キャンプファイヤー、カッター訓練をはじめとしたプログラムを行い、参加児童からは「来年も楽しみ!」という声が多く聞こえ、大切な思い出となりました。



地域青少協の活動報告

南小倉校区青少年健全育成協議会

会長 井戸本 道衛氏



南小倉校区青少年健全育成協議会は、青少年の健全育成を推進する目的として平成6年7月に発足し、令和6年度で30周年を迎えました。私は平成27年度より会長を務めております。本日は30周年の歩みを簡単に紹介したいと思います。

▼平成8年南小倉校区青少年健全育成協議会だより「ふれあい」第1号を発行しています。

▼土曜子ども居場所づくり事業として「南小倉フリーランド推進委員会」を立ち上げ現在まで「フリーランド」として様々な取り組みを企画してきました。子どもたちは、常時備えてある竹馬・竹こつぽり・輪廻し・フラフープなどの遊びが大好きです。

▼平成17年から平成25年にかけて京都市大宮交通公園に、児童PTAスタッフでバス1台を借りて行き、正しい自転車の乗り方の勉強のあと実技指導を受けて、交通ルールを学んだ後「カーポート」の乗車体験をしました。

▼平成27年7月の夏祭りでは、体育振興会との共催でグラウンドに「巨大迷路」を作ってもらい子どもたちは歓声を上げながら挑戦していました。

▼平成27年8月には児童、スタッフ計40名の参加で宇治市社会福祉協議会協賛事業の「木下大サカス」を京都競馬場に見学に行きました。

▼食育活動の一環として実施した「親子料理教室」では栄養教諭の食育に関する講演を聞いた地域の方に韓国料理を教えてもらったりして毎回多くの親子が参加してくれました。

▼毎年12月第2土曜に南小倉校区青少年健全育成協議会のメインイベント「地域ふれあい広場」を開催し、もち米40kgでのもちつき、400人の豚汁提供、綿菓子、たこせん、あてものなどの模擬店を開催しました。和太鼓演奏やよさこい、大道芸人の方々のパフォーマンスもあり、子どもたちや大勢の地域の方々にお越しいただき、笑顔溢れる1日でした。

いづれの事業にもPTA役員をはじめ、少年補導員さん、民生児童委員さん、体育振興会さん、加えて、どんと焼きなどで

は、地域の見守り隊の方々、西小倉中学校生徒さんの力も借りました。皆さまのご協力があった様々な事業に取り組めたと思っております。本当に感謝しています。

しかしながら令和元年度に「新型コロナウイルス感染症」が世界の恐怖になり、令和2年度、3年度の事業はほとんど中止となりました。令和4年度新型コロナウイルス感染症の拡大防止を意識しながら子どもたちに「少しでも楽しく過ごしてもらいたい」「外遊びは大丈夫じゃないかな」と試行錯誤する中、小学校と協議を行い12月に「ミニふれあい広場」と銘打ってクリスマスカード作りやリース作り、ピンボール、輪投げ、お菓子釣りなどの遊び、吊るし柿販売等を土曜10時～12時の間だけですが開催しました。久しぶりのイベントに沢山の児童が参加してくれ、まだまだマスク着用ですが役員、見守り隊の皆さま、西小倉中学校生徒さんたちの協力で楽しい時間にする事ができました。

令和5年、6年は「ポストコロナ時代」と呼ばれ、以前にも増して活気にあふれるようになり、私達もマスクを外し飲食の模擬店もできるようになりました。「南小倉子」にも「フリーランド」が定着しています。このような私達の活動が南小倉小学校卒業生の皆さまや、地域の方々の楽しい思い出となってくれていたら幸いに思います。

今まではこれまでの活動を紹介してきましたが、令和8年4月に宇治市で2番目の小中一貫校「宇治西小倉学園」が開校し、活動の様子が大きく変わろうとしています。新しい校舎、グラウンド、同級生の数が3倍になり、沢山の友達ができるなど、楽しい学校生活が子どもたちを待っています。

これから私たち南小倉校区青少年健全育成協議会は、「宇治西小倉学園」の子どもたちの新しい未来を見つけていくために、北小倉学区青少年健全育成協議会、西小倉校区青少年健全育成協議会、それぞれの学校の役員、諸団体の方々と手を取り、知恵を出し合っ楽しい思い出を作れるように、協力していきたいと考えております。



第3部 講演

演題 「やさしさわすれないで」
～阪神・淡路大震災から30年～

講師 佐々木 勉 氏
阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター 語り部
元 旧二葉小学校教諭（教育復興担当教員）

震災当時、小学生は大人を笑顔にし、中学生は地域に希望を与えた。
一子どもたちはすごい力をもっている その力を発揮させるのは教師・大人の力
（当日配布の講師提供資料より抜粋）

- ・二葉小学校避難所は避難者自治会・ボランティアの方々に支えられた。
- ・全国からたくさんのボランティア支援があり、人とのふれあいが、子どもたちに喜び、元気、目標を与えた。
- ・ネバー・ギブアップ！中学生は戦力になる。小中高生こそが地域回復の原動力であり、被災地の未来はその地の小中高生の活躍によって決まる。
- ・青シートをかけた 炊き出しを手伝った 避難者名簿を作った 電話対応も大丈夫 掃除も進んでやる 人の役に立ちたい
- ・「わが家の防災リーダーになってほしい」、「青年時代にボランティア体験重ねよう」ということを今、語り部から子どもたちをお願いしている。
- ・「いただいたやさしさ」「自分から発信するやさしさ」「人と人との絆」やさしさわすれないで。



地域青少協の活動掲示

令和7年1月26日(日) 宇治市生涯学習センター1Fロビー

市内10地域の青少協とジュニアリーダー会から、今年度も活動の様子が寄せられ、推進大会当日に掲示しました。笑顔と活気あふれる活動が各地域で行われました。



おめでとうございます

京都府青少年健全育成成功労者等知事表彰(青空賞)を受賞
令和6年11月26日(火) 於 京都府公館レセプションホール

団体



北小倉学区青少年健全育成協議会
会長 宮田 美榮 氏

個人



宇治市青少年健全育成協議会
神明学区会長 山崎 絹子 氏

市長へ受賞報告
令和6年12月16日(月)



precious document
R6推進大会



ジュニアリーダークリスマス会



令和6年12月15日(日)に宇治市生涯学習センターでジュニアリーダークリスマス会を開催し、夏休みに「マリンピア」に参加した児童と共にゲームや昼食交流を行い、楽しいひと時を過ごしました。

